

第187期 (2019年11月15日)	
基準価額	7,476円
純資産総額	133百万円
第182期～第187期 (2019年5月16日～2019年11月15日)	
騰落率	3.1%
分配金合計	120円

※騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「個人投資家の皆様へ」の上部にある「サイトマップ」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書（全体版）」を選択いただきますと運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 書面での運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ピクテ・ハイインカム・ソブリン・ファンド(毎月決算型) 為替ヘッジコース 愛称 円の贈り物

追加型投信／海外／債券

第182期(決算日2019年6月17日) 第185期(決算日2019年9月17日)  
第183期(決算日2019年7月16日) 第186期(決算日2019年10月15日)  
第184期(決算日2019年8月15日) 第187期(決算日2019年11月15日)

作成対象期間：2019年5月16日～2019年11月15日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ・ハイインカム・ソブリン・ファンド（毎月決算型）為替ヘッジコース」は、このたび、第187期の決算を行いました。当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国の米ドル建てソブリン債券および準ソブリン債券に投資し、利子等収益の確保と売買益の獲得を目的としております。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

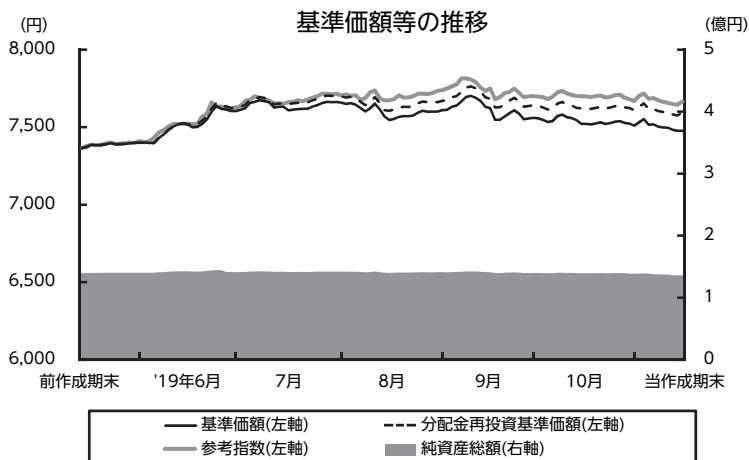
電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

# 運用経過

## 基準価額等の推移



第182期首： 7,365円  
第187期末： 7,476円  
(既払分配金 120円)  
騰落率： 3.1%  
(分配金再投資ベース)

※参考指数は、JPモルガンEMBI グローバル・ディバースファイド指数 (円ヘッジ) であり、前作成期末の基準価額に合わせて指数化しています。

- ・分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の主な変動要因

- 上昇▲ ・実質的に組入れている債券の価格が上昇したこと  
上昇▲ ・実質的に組入れている債券からの利金収入  
下落▼ ・為替ヘッジコスト

# 1万口当たりの費用明細

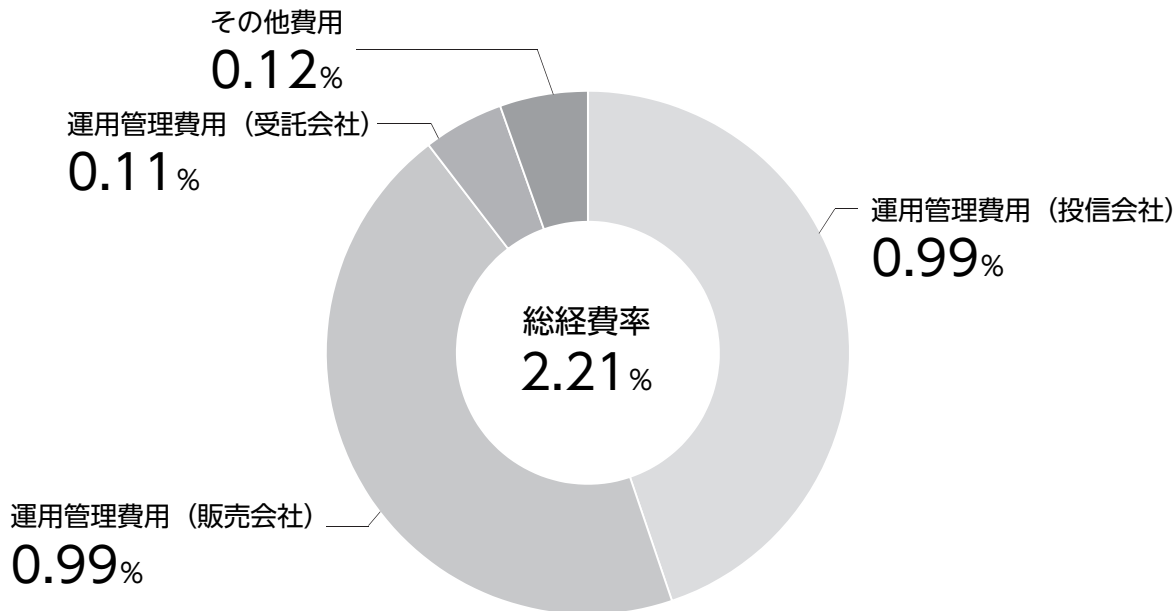
項目	当作成期(第182期～第187期) (2019年5月16日～2019年11月15日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	7,556円	—	作成期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	79円 (38)	1.051% (0.498)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(38)	(0.498)	
(受託会社)	(4)	(0.055)	
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (保管費用)	5 (3)	0.060 (0.033)	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、信託事務の処理等に要する諸費用
(監査費用)	(2)	(0.027)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	84	1.112	

- ・上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。
- ・売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- ・各金額の円未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

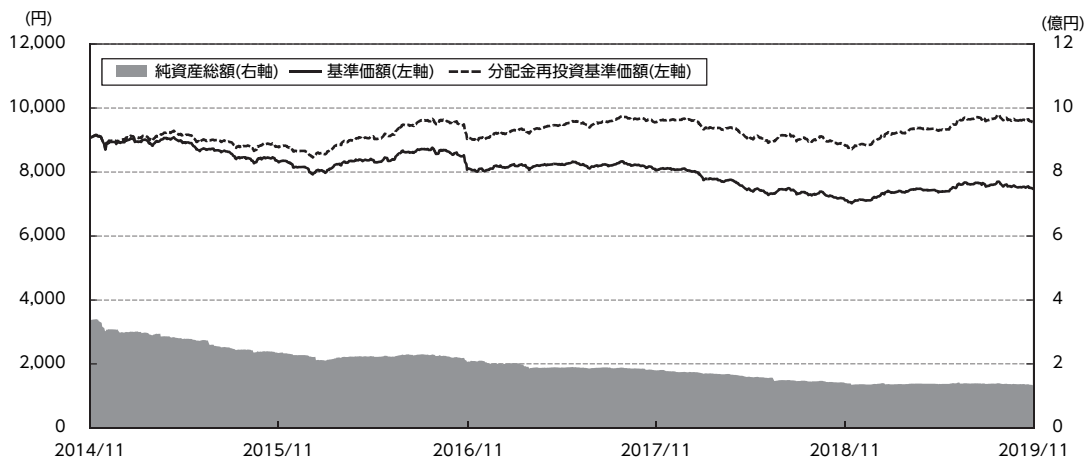
### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.21%**です。



- ・上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移 (2014/11/17~2019/11/15)



- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・分配金再投資基準価額は、2014年11月17日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

決算日	2014/11/17	2015/11/16	2016/11/15	2017/11/15	2018/11/15	2019/11/15
基準価額 (円)	9,088	8,317	8,075	8,055	7,130	7,476
期間分配金合計 (税引前、円)	-	480	480	480	340	240
分配金再投資基準価額騰落率	-	-3.31%	2.84%	5.77%	-7.46%	8.29%
参考指数騰落率	-	-0.06%	5.08%	8.89%	-5.83%	10.80%
差異	-	-3.25%	-2.24%	-3.11%	-1.63%	-2.50%
純資産総額 (百万円)	338	234	206	179	140	133

- ・分配金再投資基準価額騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・参考指数はJPモルガンEMBI グローバル・ディバースファイド指数（円ヘッジ）です。基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

## 投資環境

米ドル建て新興国ソブリン債券市場のベースとなる米国国債市場は、期を通じて上昇（利回りは低下）しました。前作成期末から2019年7月にかけては、米中貿易戦争の激化や英国の合意なき欧州連合（EU）離脱への警戒感などから投資家のリスク回避の姿勢が強まり、上昇（利回りは低下）しました。8月は、ドイツのGDP（国内総生産）成長率が前期比マイナスになったことや中国の経済指標が市場予想を下回ったことなどから世界的に景気減速懸念が高まり、大きく上昇（利回りは低下）しました。9月から当作成期末にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）が追加金融緩和に対する慎重な姿勢を示したことや、米中通商交渉の進展期待から投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどを背景に、下落（利回りは上昇）しました。一方、米国国債と新興国債券の利回り格差（スプレッド）は、期を通してみると縮小しました。米欧の緩和的な金融政策や米中通商交渉の進展期待から、投資家心理が改善したことなどが背景です。

## 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・エマージング・ソブリン債券ファンド・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

### <ピクテ・エマージング・ソブリン債券ファンド・マザーファンド>

主に新興国の米ドル建てソブリン債券等に投資を行ってまいりました。また、米国国債先物を利用してデュレーションの調整を行いました。

#### ◇組入上位10ヵ国（当作成期末）

国名	組入比率
インドネシア	5.9%
メキシコ	5.4%
パナマ	3.9%
ペルー	3.7%
コロンビア	3.4%
ロシア	3.2%
ブラジル	3.0%
カザフスタン	2.9%
フィリピン	2.9%
トルコ	2.8%

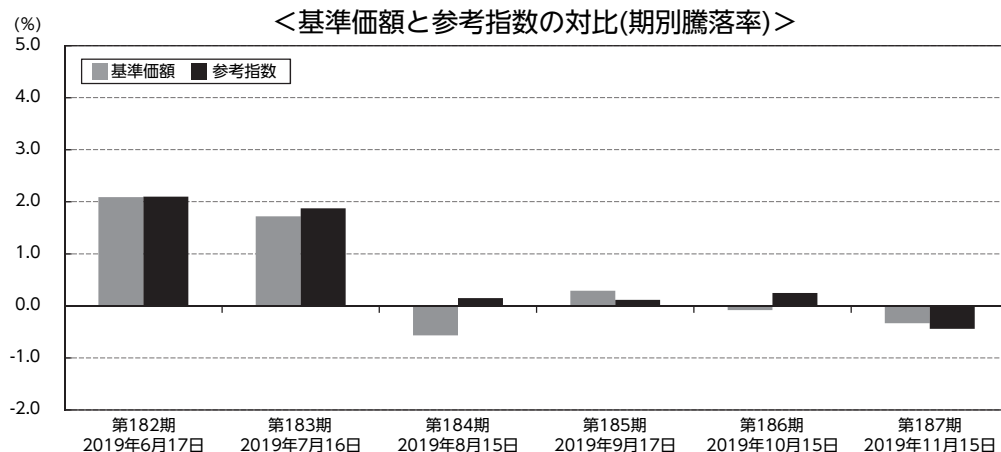
#### ◇信用格付別構成比（当作成期末）

信用格付	組入比率
AA格	2.4%
A格	12.4%
BBB格	30.8%
BB格	13.2%
B格	29.4%
CCC格以下	4.5%
無格付	0.6%

・組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドでは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドと参考指数の騰落率の対比です。



※各期の基準価額は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当作成期中の1万口当たり分配金（税引前）は以下のとおりといたしました。

なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

### ◆分配金および分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第182期	第183期	第184期	第185期	第186期	第187期
	自 2019年5月16日 至 2019年6月17日	自 2019年6月18日 至 2019年7月16日	自 2019年7月17日 至 2019年8月15日	自 2019年8月16日 至 2019年9月17日	自 2019年9月18日 至 2019年10月15日	自 2019年10月16日 至 2019年11月15日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.266	0.262	0.264	0.264	0.265	0.267
当期の収益	20	20	20	20	19	20
当期の収益以外	—	—	—	—	0	—
翌期繰越分配対象額	1,114	1,125	1,127	1,129	1,129	1,130

- ・対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。
- ・「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# 今後の運用方針

## (1) 投資環境

米ドル建て新興国ソブリン債券市場は、中長期的には新興国の潜在的な成長力の高さから機関投資家の投資拡大が見込まれること、政府債務残高（対GDP比）の水準が先進諸国に比べ低いなど相対的に健全な国が多いことや長期水準に比べ通貨が下落したことで輸出競争力の回復が期待できることから投資先として魅力は高いとみています。短期的にも新興国ソブリン債券市場は利回り追求の動きを受けた資金流入が期待されます。しかし、リスク回避姿勢が高まると資金フローが縮小しスプレッドが拡大する傾向があるため注意が必要です。また、米中の通商問題の動向にも引き続き注意が必要です。米国の金融政策は当面は緩和的な姿勢が維持されることが想定され、新興国のインフレ率が一般的に落ち着いていることも考慮すると、新興国の政策金利には引き下げ余地が残されているとみています。

## (2) 投資方針

ピクテ・エマージング・ソブリン債券ファンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて主に新興国の米ドル建てソブリン債券等に投資し、利子等収益の確保と売買益の獲得を目指して運用を行ってまいります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替リスクの低減を図ります。

### <マザーファンド>

主に新興国の米ドル建てソブリン債券等に投資を行ってまいります。経済ファンダメンタルズがしっかりしており、財政上の改善が期待できるエマージング諸国を中心に投資を行っていく方針です。

## お知らせ

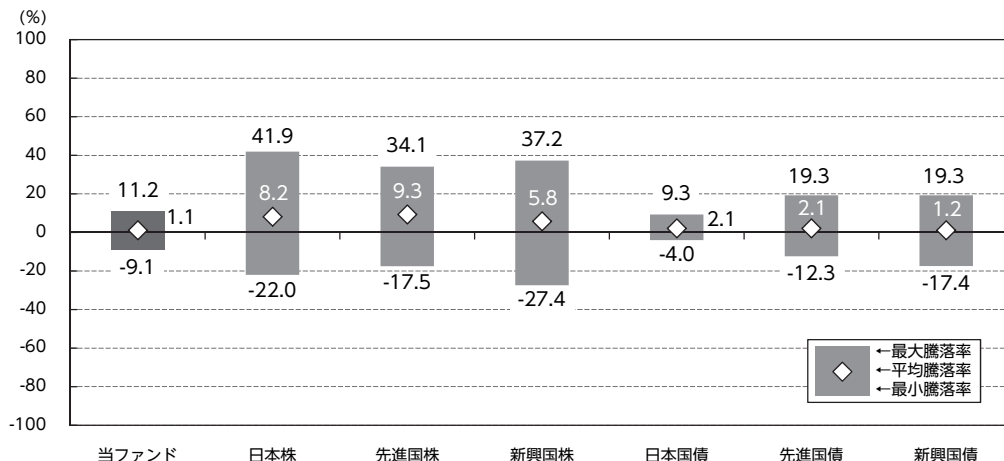
主要投資対象とする新興国のソブリン債および準ソブリン債と同等の経済的性質を有するスクーク（イスラム債）への投資を可能とするため投資対象とする有価証券の追加および変更を行うため所要の約款変更を行いました。



# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2004年3月16日（当初設定日）から無期限です。	
運用方針	主として米ドル建てのソブリン債券および準ソブリン債券に投資し、利子等収益の確保と売買益の獲得を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・エマージング・ソブリン債券ファンド・マザーファンド 受益証券
	マザーファンド	新興国の米ドル建てソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	<p>①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国の米ドル建てソブリン債券および準ソブリン債券に投資し、利子等収益の確保と売買益の獲得を目指します。</p> <p>②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ることを目指します。</p>	
主な投資制限	当ファンド	<p>①株式への投資は、転換社債を転換ならびに新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り、）を行使したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
	マザーファンド	<p>①株式への投資は、転換社債を転換ならびに新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り、）を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、経費控除後の利子等収益を中心に、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2014年11月末～2019年10月末)



○上記グラフは、対象期間中の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。各資産クラスについては以下の指数に基づき計算しております。

### ○各資産クラスの指標

- 日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株 MSCIコクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)
- 新興国株 MSCIエマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)
- 日本国債 NOMURA-BPI国債
- 先進国債 FTSE世界国債指数 (除く日本、円換算)
- 新興国債 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なります。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

## 当該投資信託の組入資産の内容

(2019年11月15日現在)

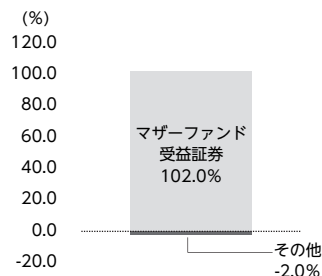
### ■組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

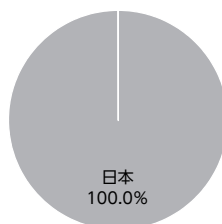
ファンド名	第187期末 2019年11月15日
ピクテ・エマージング・ソブリン債券ファンド・マザーファンド	102.0%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

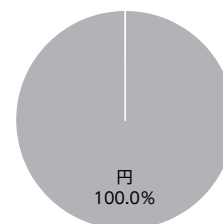
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。なお、資産別配分は100%を超える資産があるため棒グラフで表示しております。

## 純資産等

項目	第182期末 2019年6月17日	第183期末 2019年7月16日	第184期末 2019年8月15日	第185期末 2019年9月17日	第186期末 2019年10月15日	第187期末 2019年11月15日
純資産総額	139,343,166円	138,720,552円	137,425,758円	137,059,656円	136,719,970円	133,550,900円
受益権総口数	185,811,347口	182,335,531口	182,137,891口	181,613,450口	181,791,531口	178,629,610口
1万口当たり基準価額	7,499円	7,608円	7,545円	7,547円	7,521円	7,476円

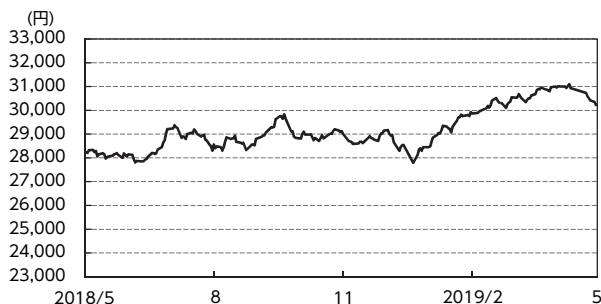
・当作成期中における追加設定元本額は1,678,196円、同解約元本額は9,008,096円です。

# 組入上位ファンドの概要

## ピクテ・エマージング・ソブリン債券ファンド・マザーファンド

(2019年5月15日現在)

### ■基準価額の推移



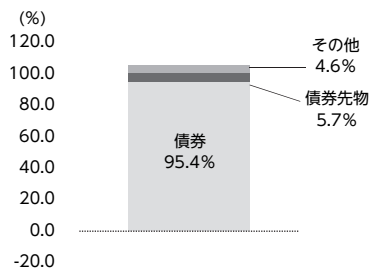
### ■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：276銘柄)

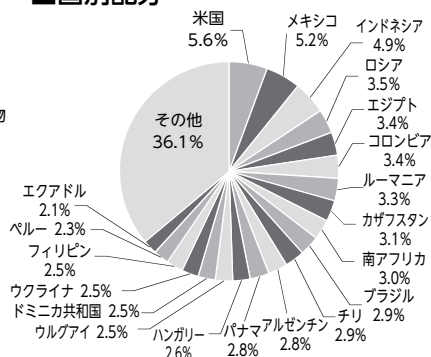
	銘柄	比率
1	US 10YR NOTE先物	5.7%
2	9.625% NATIONAL POWER CO	2.5%
3	5.71% INDONESIA ASAHAN A	1.7%
4	7.85% REPUBLIC OF SRI LA	1.2%
5	4.817% STATE OF QATAR	1.1%
6	5.375% OMAN GOV INTERNTL	1.1%
7	8.747% REPUBLIC OF NIGER	1.0%
8	4.625% INDONESIA GOVT	1.0%
9	9.375% REPUBLIC OF ANGOL	0.9%
10	5.625% REP OF PERU	0.9%

- ・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

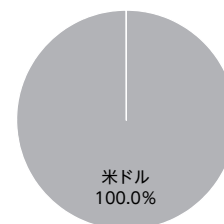
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



- ・資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当組入ファンドの組入債券および債券先物の評価額合計に対する割合です。なお、資産別配分は合計が100%を超えるため棒グラフで表示しております。

### ■1万口当たりの費用明細

項目	当期
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	1円 (1)
(b) その他費用 (保管費用)	18 (18)
(その他)	(0)
合計	19

- ・左記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。
- ・(a) 売買委託手数料および(b) その他費用は、当期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
- ・円未満は四捨五入しています。

- ・基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は当組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

## 指数に関して

---

### ○「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■東証株価指数（TOPIX）（配当込み）：

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とし、浮動株ベースの時価総額加重型で算出された指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）に帰属します。東証は、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東証は同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### ■MSCIコクサイ指数（税引前配当込み）：

MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ■MSCIエマージング・マーケット指数（税引前配当込み）：

MSCIエマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ■NOMURA－BPI国債：

NOMURA－BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

#### ■FTSE世界国債指数（除く日本）：

FTSE世界国債指数（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### ■JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイド：

JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。